

横浜町コミュニティ・スクール便り『夢をはぐくむ』

第2号 令和6年6月 横浜町学校運営協議会事務局

第1回横浜町学校運営協議会 ～ 教育長挨拶 ～

横浜町にとって初となる「令和6年度第1回学校運営協議会」を行うにあたり、協議会設置者である教育委員会を代表して、一言ご挨拶とお願いを申し述べます。

昨年度、小・中学校それぞれの学校評議員会の席に出向き、今年度からの学校運営協議会の立ち上げと、それに伴い事実上これまでの学校評議委員会は行われなくなるについてお話しさせていただきました。

ご存じの通り、横浜町は学校が小・中の2つしかありません。そこで過ごす9年間で、「横浜町として、どんなことができる子どもを育てていくのか」「子ども達のために地域の大人がやるべきことは何か」「学校が困っていることがある場合、私たちはどう対応すべきか」など、運営協議会で協議するテーマを事前に送るので、協議会開催の折には、委員各位自分なりの考えを持って会議に臨んでいただきたいと思います。この会議で出されたご意見やお考えは協議を踏まえまとめられ、学校教育や日々子ども達の指導に反映されます。また、関係団体を通じて地域の皆様にもお知らせして、必要な協力をさせていただくよう働きかけを行います。さらに、ここで話し合われたことはホームページでも公開され、広く周知されます。

協議会委員の皆様は、学校評議員とは異なり特別公務員の身分となるので発言には責任が伴います。しかしどうかビビることなく、皆様には子ども達の育成とよりよい学校づくり、地域づくりのために、積極的に、ご自分の考えや思いを協議会の中で出させていただくようよろしくお願いいたします。

学校運営協議会には小・中学校の枠はありません。横浜町にとって、よりよい学校を作るための、よりよい子ども達の育成のための、「最大の応援団」としてお努めいただくよう何卒よろしくお願いいたします。

☆第1回横浜町学校運営協議会 ～ 内容 ～

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長挨拶
- 4 組織会（会長に澤谷政和委員、副会長に佐藤加奈美委員を選任）
- 5 令和6年度横浜小学校・中学校経営方針説明（校長）
- 6 協議テーマ「あいさつの町構想にどう取り組むか」

☆第1回横浜町学校運営協議会 【今回出された方向性】

～ 今の子ども達のあいさつで満足せずに、もう一步レベルを上げていくために ～

- ◎大人があいさつをしなくなってきた感がある。子どもの前で大人同士のあいさつを率先して行う
- ◎あいさつの基本は家庭からなので、家庭でのあいさつを大人が見直していく
- ◎「相手を見て声に出してあいさつを交わす」・・・様々な場面でこのことを大切に心かける
- ◎子どもだけでなく、大人社会の中でも「あいさつをすること」を教える必要があれば教える
- ◎学校においては、「あいさつがなぜ大切か」を子ども達に問い直し考えさせることをしてほしい
- ◎昔と比べ役場に行ってもあいさつの声あまり聞かれず暗い印象。役場職員には頑張ってもらいたい
- ◎止まってくれたドライバーに小中学生がお礼をすることがとても好印象なのでぜひ続けてほしい
- ◎町全体であいさつを大切にするために、「のぼり」などシンボリックなものを取り入れていくべき

・・・今回初の学校運営協議会でしたが活発にしかも建設的に話し合いが行われ、あいさつをさらに高めていくために見直すべきことや強化すべき方向性、反省点などが率直に出されました。これをもとに動き出します。（事務局）